

脱炭素先行地域「中心核マイクログリッド構築事業」 進捗状況報告について

資料3

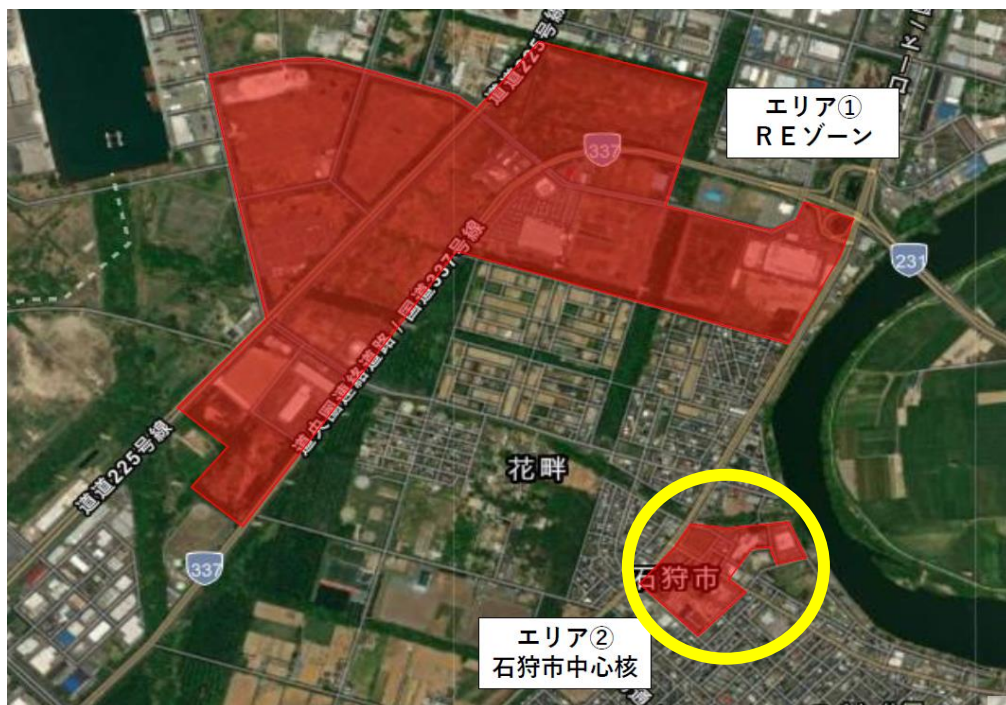
令和6年10月31日 環境課（ゼロカーボン推進担当）

1 事業概要

中心核エリアの公共施設5施設に太陽光発電設備を設置して自家消費するとともに、不足分は市内再エネ電源により発電された電力の供給手法を確立することにより、5施設の電力消費に伴うCO₂排出量をゼロにする。

さらに、蓄電池の設置やマイクログリッドの構築により、レジリエンス（災害時の対応力）の強化や、地域における再エネ電力の自給率を高める。

2 脱炭素先行地域エリア図



3 これまでの経緯

令和4年4月：環境省により第1回脱炭素先行地域に選定（全国26自治体）

令和4年度事業：5施設の再エネ設備導入ポテンシャル調査を実施

4 令和5年度事業結果について

令和5年度は、マイクログリッド構築にあたる概略設計を実施。設備要件の検討や関係機関協議、法制度の整理等を行った。結果として下記について変更が生じた。

- ・太陽光発電設備設置量の減少：859kW → 394kW
- ・マイクログリッド構築施設数が減少：5施設 → 3施設

5 中心核マイクログリッド構築イメージ図



公募スケジュール

10月	11月	12月	1月	2月	3月
17日頃			31日	17日頃	上旬
公募開始			提案締切	プレゼン	事業者選定

今後のスケジュール

R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
設計・施工 事業者公募 (年内) ↓ 決定 (年度内)	設計 必要に応じて、 屋根・受電盤改修	施工	供用 開始	不足需要分の電力供給 スキーム検討		脱炭素 目標年度
補助金交付期間			繰越可	保守・管理		